

## 目 次

<b>1章 化学結合はどうやってできているのか</b> ..... [小谷正博] ..... 1
分子の形 1/ 共有結合のしくみ 4/ 極性のある結合 7/
<b>2章 エントロピーとは何だろう</b> ..... [原田義也] ..... 13
水の状態変化 13/ 気体の拡散 15/ 熱伝導 17/ 热と 仕事 18/ 化学反応 21/ 生体反応 23/
<b>3章 液体の蒸気圧</b> ..... [田丸謙二] ..... 27
純粹液体の蒸気圧 27/ 湾曲液面の蒸気圧 30/ 毛管現象 30/ 溶液の蒸気圧 31/ 浸透圧 32/ 潮解と風解 34/
<b>4章 身近な現象—溶解—の理解</b> ..... [佐野博敏] ..... 39
似たものどうしはよく溶ける? 似て非なる例 39/ 同じ出 発点から考えよう 41/ 塩化ナトリウムの溶解 41/ 硫酸 カルシウムと硫酸銅の溶解性を比べる 43/ 水分子の極性と その高次構造 44/ 硫酸マンガンの溶解度の温度変化 45/
<b>5章 反応速度, 化学平衡, 平衡定数</b> ..... [田丸謙二] ..... 49
反応速度と化学平衡 49/ ダイナミックな平衡 50/ 平衡 と温度 51/ 平衡と圧力 53/ アンモニアの合成反応 53/ 反応のエネルギー図 55/ 連鎖反応 59/

<b>6章</b>	<b>触媒作用</b>	[田丸謙二].....63
	触媒作用とは 63/   触媒の働き 66/   石炭からガソリンを 69/	
<b>7章</b>	<b>プレンステッド酸塩基反応で考えよう</b>	[田中元治].....73
	酸、塩基の溶液 73/   金属イオンの酸性と強酸や強塩基の解離 度 74/   酸と塩基の強さ 76/   酸や塩基の溶液と中和滴定 79/	
<b>8章</b>	<b>電気化学のあやしいところ</b>	[渡辺 正].....85
	「イオン化列」は仮想の世界 85/   電池の導入：あやしいボル タ電池 86/   電気分解その1：導入部の問題点 89/   電気 分解その2：電解反応物を決める要因 92/	
<b>9章</b>	<b>電子でまとめる化学反応</b>	[松永義夫].....97
	化学式と反応式 97/   プレンステッド酸と塩基 97/   ルイ ス酸と塩基 98/   酸化と還元 100/   水素とヨウ素の反応 101/   水素と臭素の反応 102/   酸素移動反応 103/   電 子移動反応 104/   酸化還元と酸塩基反応の関連 104/	
<b>10章</b>	<b>周期表で考えるおもしろい話</b>	[田中元治].....107
	イオン化エネルギー 107/   電子親和力 110/   電気陰性度 と結合 111/   ルイス酸の硬さと軟らかさ 113/	
<b>11章</b>	<b>無機化合物の構造と物性</b>	[齊藤喜彦].....119
	物質の粒子構造 119/   粒子の集合体—結晶 119/   結晶構 造 120/   イオン結晶 124/   金属結晶とその物性 125/ 分子結晶 127/   錯 体 127/   ゼオライト、分子ふるい 128/	

<b>12章</b>	炭素-炭素結合は頑丈な結合—高校の有機化学で何を教えるか—	[山本經二] ..... 131
	炭化水素が有機化合物の基本 131 / 鎖状飽和炭化水素：アルカ ン 133 / 鎖状不飽和炭化水素：アルケン 134 / 炭化水 素の酸化反応（燃焼）と熱分解 135 / ベンゼン誘導体の化学酸 化 136 / 特殊な酸化反応—「クメン法」と「ハロホルム反応」 137 /	
<b>13章</b>	アルケンの化学のおもしろさ ..... [芝 哲夫] ..... 141	
	エチレンは植物ホルモン 141 / ポリエチレンの製法は偶然に 見つかった 142 / 森のかおりを演出するアルケン類 143 / 花のにおいの主成分 145 / 昆虫フェロモンと二重結合 145 / カロチノイドと共に二重結合 147 / シストランスと視覚 147 /	
<b>14章</b>	地球上でもっとも多い有機分子 D-グルコースの立体化学	[山本經二] ..... 151
	D-グルコースは生命体でもっとも重要な糖である 151 / D-グ ルコースのかたち—立体化学について 155 / D-グルコースの 高分子—セルロースとでんぶんの違い 157 /	
<b>15章</b>	身近な高分子 ..... [戸嶋直樹] ..... 159	
	高分子は今 159 / 高分子は有機分子である 159 / 高分子 の合成 161 / ポリエチレンにもいろいろある 162 / 高分 子の性質を変える共重合 163 / 高分子の溶解性—水に溶ける 高分子 165 / 高吸水性・高吸油性高分子—橋かけ反応 166 /	
<b>16章</b>	アミノ酸とタンパク質の話いろいろ ..... [芝 哲夫] ..... 169	
	日本人が発見したうま味物質 169 / タンパク質をつくるアミ ノ酸 169 / $\alpha$ -アミノ酸には光学異性体がある 170 / 光学 活性体とラセミ体 171 / 生理活性と光学異性 172 / サリ	

ドマイド事件 172/ 栄養に不可欠なアミノ酸 173/ 強い個性をもつペプチド 174/ ペプチドとは 175/ タンパク質とは 176/ タンパク質の性質を決めるもの 177/ タンパク質の構造 177/ タンパク質の酵素作用 179/	
<b>17章 シャンプーとリンスのおもしろい関係</b> ..... [池上雄作] ..... 181	
液状シャンプーの成分と効能 181/ リンスの成分と働き 186/	
<b>18章 くすりの化学の大切さ</b> ..... [芝 哲夫] ..... 191	
くすりの歴史 191/ 梅毒の特効薬サルバルサンの発見 191/ 化学療法剤の研究 192/ ペニシリンの発見 193/ 抗生物質に対する耐性菌の出現 194/ 解熱剤のはじまり 195/ モルヒネとエンケファリン 196/ ビタミンの話 197/ 制がんとがんの予防 198/	
<b>19章 光の関わる化学</b> ..... [戸嶋直樹] ..... 203	
人類の生存と光 203/ 光の吸収 204/ 光エネルギーの行方 206/ 光合成のしくみ 207/ 人工光合成 212/	
<b>20章 大気の化学</b> ..... [秋元 肇] ..... 217	
物質循環 217/ 地球温暖化 222/	
<b>索引</b> ..... 229	